

各位

会社名 株式会社ニューロマジック
 コード番号 251A
 上場取引所 東証 TOKYO PRO Market
 福証 Fukuoka PRO Market
 代表者名 代表取締役社長 CEO 黒井 基晴
 問合せ先 取締役 CIO 石川 修一
 T E L 03-3248-1424
 U R L <https://www.neuromagic.com/>

福岡証券取引所 Fukuoka PRO Market 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2024年12月16日に福岡証券取引所 Fukuoka PRO Market に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

(単位：百万円、%)

項目	2025年2月期 (予想)			2025年2月期 中間会計期間 (実績)		2024年2月期 (実績)	
	決算期	構成比	対前期 増減比	構成比	構成比	構成比	
売上高	1,442	100.0	9.2	589	100.0	1,321	100.0
営業利益又は営業損失	40	2.8	—	△40	—	△2	—
経常利益又は経常損失	27	1.9	96.5	△46	—	14	1.1
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益又は親会社株主に帰属する当期(中間)純損失	8	0.6	—	△45	—	△14	—
1株当たり当期(中間)純利益又は当期(中間)純損失	9円78銭			△57円30銭		△19円00銭	
1株当たり配当金	未定			—		—	

(注) 1. 当社は、2024年6月1日付で、普通株式1株につき、500株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期(中間)純利益又は当期(中間)純損失を算定しております。

2. 2025年2月期の1株当たり配当金につきましては、未定のため記載しておりません。

【2025年2月期業績予想の前提条件】

1. 当社グループ全体の見通し

当連結会計期間における世界経済は、ウクライナ及びロシアの情勢による国際情勢の緊迫化や、世界的なインフレの進行リスクなど、経済環境の先行きが不透明な状況となっております。特にヨーロッパ、弊社が拠点を持つオランダを含む地域においても、これらの国際的な事象の影響を強く受けています。

日本経済においては、インバウンド需要の増加や、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束に向かう中での社会経済活動の正常化、さらには日経平均株価が史上最高値を更新するなど明るい兆しが見られるものの、原材料・エネルギー価格の上昇や物価の上昇などによる為替の影響を懸念し、先行きの不透明感が今なお残っております。

前連結会計期間は、顧客による商流の変更が発生した影響で受注及び売上が減少しましたが、受注の減少は一過性のものであり、売上高は例年通りの水準にまで回復することが想定されます。また、前連結会計期間より引き続き業務の内製化を実施することで一層のコスト抑制を図っております。

このような事業環境のもと、現時点において当社グループが把握している情報を基に業績予想を算出いたしました。しかし、こうした状況が将来にわたって経済にもたらす影響は不確実性が高く、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社グループの売上高は、単一セグメントとしてエクスペリエンスデザイン事業を展開しております。現在の受注・手持ち案件及び過去の実績を踏まえ計上し予算化しております。

以上の結果、売上高は1,442百万円（前年同期比9.2%増）を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、過去の実績に基づき、発生が見込まれる費用について、物価高に対する消耗品費の増加や、社員への手当の拡充等、昨今のインフレによる影響を加味して算出しております。

以上の結果、売上原価は1,141百万円（前年同期比8.0%増）、売上総利益は301百万円（前年同期比14.2%増）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、過去の実績に基づき、発生が見込まれる費用を算出しております。

以上の結果、販売費及び一般管理費は261百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は40百万円（前年同期は2百万円の営業損失）を見込んでおります。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外損益は、上場関連費用及び受取利息等を考慮して、算出しております。

以上の結果、経常利益は27百万円（前年同期比96.5%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益として見込んでいる事項はありません。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等を考慮して8百万円（前年同期は14百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性をいかなる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する事業目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な原因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2025年2月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月11日

上場会社名 株式会社ニューロマジック 上場取引所 東
 コード番号 251A URL <https://www.neuromagic.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 黒井 基晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CIOコーポレートグループリーダー (氏名) 石川 修一 (TEL) 03(3248)1424
 中間発行者情報提出予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 —
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期中間期の連結業績(2024年3月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	589	—	△40	—	△46	—	△45	—
2024年2月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 中間包括利益 2025年2月期中間期 △30百万円(—%) 2024年2月期中間期 —百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
2025年2月期中間期	円 銭 △57.30	円 銭 —
2024年2月期中間期	—	—

(注) 1. 当社は、2025年2月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期中間期の数値並びに2024年2月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

3. 2024年6月1日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	528	166	31.5
2024年2月期	642	201	30.8

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 166百万円 2024年2月期 197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	0.00	0.00
2025年2月期	0.00	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,442	9.2	40	—	27	96.5	8	—	9.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

: 無

新規 一社 （社名）

除外 一社 （社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

: 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

: 無

② ①以外の会計方針の変更

: 無

③ 会計上の見積りの変更

: 無

④ 修正再表示

: 無

（4）発行済株式数（普通株式）

1 期末発行済株式数
（自己株式を含む）

2025年2月期中間期	823,600株	2024年2月期	788,000株
-------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2025年2月期中間期	一株	2024年2月期	一株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数

2025年2月期中間期	799,609株	2024年2月期中間期	一株
-------------	----------	-------------	----

（注）当社は、2024年6月1日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。このため、当連結会計年度、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）2ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記.....	3
(1) 中間連結貸借対照表.....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書.....	7
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	9
(会計方針の変更).....	9
(セグメント情報).....	9
(重要な後発事象).....	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化に伴うインバウンド需要の大幅な回復や堅調な企業業績等を背景に、雇用・所得環境の改善など景気は緩やかな回復が続きましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりや継続する物価上昇など設備投資や個人消費が下振れする懸念要素もあり、依然として不透明な状況が続いております。このような事業環境において、当社グループでは期初より社内組織体制の大幅な改編を行い、業務の効率化とそれに伴う利益率の向上を図ってまいりました。また、案件獲得を目的とした社内チームの整備や外部業者の活用も開始し、売上規模の拡大にも努めている状況であります。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は589,886千円、営業損失は40,947千円、経常損失は46,561千円、親会社株主に帰属する中間純損失は45,813千円となりました。

なお当社は、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(ア) 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ125,723千円減少(21.4%減)し460,854千円となりました。これは主として、売掛金の減少87,645千円、現金及び預金の減少44,890千円があったこと等によるものであります。

(イ) 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12,017千円増加(21.5%増)し67,810千円となりました。これは主として、長期前払費用の増加9,614千円があったこと等によるものであります。

(ウ) 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ70,314千円減少(28.7%減)し174,790千円となりました。これは主として、営業未払金の減少26,833千円、未払金の減少22,615千円、未払消費税等の減少20,803千円があったこと等によるものであります。

(エ) 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8,639千円減少(4.4%減)し187,496千円となりました。これは主として、長期借入金の減少11,965千円があったこと等によるものであります。

(オ) 純資産

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、主として親会社株主に帰属する中間純損失の計上45,813千円等により前連結会計年度末に比べ34,752千円減少(17.3%減)し、166,378千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、252,286千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は26,553千円となりました。これは主として、売上債権の減少82,525千円があった一方で、税金等調整前中間純損失46,561千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は450千円となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入7,200千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は18,987千円となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出14,465千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2025年2月期の業績につきましては、売上高1,442百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益40百万円(前年同期は2百万円の営業損失)、経常利益27百万円(前年同期比96.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8百万円(前年同期は14百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)を見込んでおります。業績予想値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性

があります。今後、業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	300,576	255,686
売掛金	198,495	110,849
仕掛品	63,231	39,439
その他	24,275	54,879
流動資産合計	586,578	460,854
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,583	5,583
工具、器具及び備品	33,933	37,895
リース資産	2,358	2,358
減価償却累計額	△27,512	△32,150
有形固定資産合計	14,361	13,686
投資その他資産		
長期前払費用	2,101	11,715
繰延税金資産	18,114	19,276
その他	21,215	23,132
投資その他の資産合計	41,431	54,124
固定資産合計	55,793	67,810
資産合計	642,371	528,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	63,087	36,254
一年内返済予定の長期借入金	33,516	31,016
未払金	96,485	73,870
未払法人税等	4,014	4,014
未払消費税等	35,276	14,472
受注損失引当金	1,832	5,190
その他	10,891	9,972
流動負債合計	245,104	174,790
固定負債		
長期借入金	147,522	135,557
退職給付に係る負債	47,954	51,387
その他	659	552
固定負債合計	196,136	187,496
負債合計	441,240	362,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	57,060	61,617
資本剰余金	5,460	8,358
利益剰余金	122,317	76,503
株主資本合計	184,839	146,479
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,004	19,898
その他の包括利益累計額合計	13,004	19,898
非支配株主持分	3,287	—
純資産合計	201,130	166,378
負債純資産合計	642,371	528,665

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

	(単位：千円)
	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	589,886
売上原価	492,740
売上総利益	97,146
販売費及び一般管理費	138,093
営業損失(△)	△40,947
営業外収益	
受取利息	20
受取配当金	2
為替差益	4
還付消費税等	4
営業外収益合計	31
営業外費用	
支払利息	1,095
上場関連費用	4,550
営業外費用合計	5,645
経常損失(△)	△46,561
税金等調整前中間純損失(△)	△46,561
法人税、住民税及び事業税	413
法人税等調整額	△1,161
法人税等合計	△747
中間純損失(△)	△45,813
非支配株主に帰属する中間純利益	-
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△45,813

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純損失(△)	△45,813
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	6,894
その他の包括利益合計	6,894
中間包括利益	△38,919
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△38,919
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	57,060	5,460	122,317	184,839
当中間期変動額				
新株の発行	4,556	4,556		9,113
剰余金の配当			—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)			△45,813	△45,813
連結子会社株式の追加取得による持分の増減		△1,659		△1,659
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	4,556	2,897	△45,813	△38,359
当中間期末残高	61,617	8,358	76,503	146,479

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,004	13,004	3,287	201,130
当中間期変動額				
新株の発行				9,113
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)				△45,813
連結子会社株式の追加取得による持分の増減				△1,659
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	6,894	6,894	△3,287	3,606
当中間期変動額合計	6,894	6,894	△3,287	△34,752
当中間期末残高	19,898	19,898	—	166,378

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失	△46,561
減価償却費	4,637
受取利息及び受取配当金	△22
支払利息	1,095
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	3,357
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,432
売上債権の増減額 (△は増加)	82,525
棚卸資産の増減額 (△は増加)	25,299
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,893
未払金の増減額 (△は減少)	△24,650
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,551
その他	△26,717
小計	△25,048
利息及び配当金の受取額	22
利息の支払額	△1,095
法人税等の支払額	△431
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△800
定期預金の払戻による収入	7,200
有形固定資産の取得による支出	△3,962
保険積立金の支払による支出	△1,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	450
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△14,465
非支配株主への払戻による支出	△4,263
その他	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,600
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,490
現金及び現金同等物の期首残高	290,776
現金及び現金同等物の中間期末残高	252,286

**(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、エクスペリエンスデザイン事業を主体に行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。